

第186回日本経営倫理学会・理念哲学研究部会例会報告

部会長・宇佐神

日時：2014年3月3日（月） 18:00-20:00 場所：学士会館308号室

欠席連絡：村山、遠藤、長塚（連絡のあった順）

出席：緒賀、佐藤（陽）、新川、辻井、古山、望月、山本、宇佐神

1. 2014年4月以降の例会等の日程は以下の通りです。

- ① 4月7日（月） 18:00-20:00 学士会館308号室
- ② 5月5日（月・祝） 18:00-20:00 学士会館308号室
- ③ 6月2日（月） 18:00-20:00 学士会館308号室
- ④ 7月7日（月） 18:00-20:00 学士会館308号室
- ⑤ 8月4日（月） 17:00— 暑気払い（神保町サイゼリア）
- ⑥ 9月1日（月） 18:00-20:00 学士会館308号室 予定

2. 議事：

1) 報告事項 ① 24年度大会における部会推薦の発表者について。

② 2014年2月18日（火）18時～19時15分「CSR研究部会101回記念ミニシンポジウム「CSRコラボレーション」」に出席し祝辞を述べた。「日本経営倫理学会会報 No.63 第66号参照

③ 平成26年度研究発表大会開催日は6月21日（土）および22日（日）、場所は青山学院大学
発表者を予定しておられる方は至急ご連絡ください。締切は3月14日（金）の消印有効です。

2) 確認事項：①『21世紀〈経営の倫理〉』の作成に着手することを確認。現段階において、『新世紀〈経営の心〉』のスタイルを踏襲する。

② たたき台として提起された「21世紀〈経営の倫理〉——宇宙における人間の地位とその課題——」（宇佐神案）をもとに、会員より随時代案その他の提案等を受け検討を続ける。

③ 今後の例会における発表と原稿化： 3月例会：山本 毅

12月例会における佐藤陽一：「基本的認識と企業の在り方」の文章化

4月以降の発表希望等はお申し出てください（質疑の時間も含め、時間は50分）

なお、発表後、文章化し、『21世紀〈経営の倫理〉』に向けての準備とする。

当面：例会における全体討議は、全体構想（宇佐神案）の検討と確認に充てる。

3) 24年度大会における部会推薦の発表者の決定について

部会推薦発表者は望月氏に決定

4) 4月以降の発表者の決定

4月の発表者は山本氏（今月に続く）、5月の発表者は古山氏に決定

3. 本日の研究発表：

① 発表者：山本毅氏：席上配布

配布資料：哲学史上の人物とその業績を世界的（西欧・東洋・日本）な網羅。哲学用語の一覧。

上記網羅的資料が配布され、次会には、一読して参加するよう要請があった。

次回には、上記人類の哲学思想に関し、その発生と出会いと統合の人類の歩みの総括を期待
参考資料として、梅津光弘「企業倫理の発展と課題①～⑩」（日経連載）が配布

② 宇佐神「21世紀と人類：企業の課題」－21世紀と人類における日本の地位への見取り図－

* 宇宙のいのちの展開との関連で人間の地位が20世紀を通して問われ展開してきたこと。

宇宙物理学の視点の転換：宇宙原理から人間原理へ

これを補完し、完成するための全体像の自然科学的展開は、ピエール・ティヤール・ド・
シャルダン『現象としての人間』（1938年脱稿・1955年出版）に見られる。

** Y染色体のDNA解析を通して解明された、人類の歩みと日本列島住民の位置づけ。

日本の特異な地位。崎谷『DNAでたどる日本人10万年のあゆみ』

宝来『DNA人類進化学』（岩波化学ライブラリー）

*** K.ヤスパース『歴史の起源とその目標』における図式・「地球上の人類の一つの世界」を生活
技術の展開からではなく、ひと組の夫婦から21世紀における人類社会への統合の視点から作
成する試みが求められる。

**** 問題点は、21世紀における人類の場のいのちの所在とその担い手の資質とその方向性の探求
（次回予定）

その他が紹介され、宇宙の138億年のいのちの歩みが人間の生きるいのちの場として形成され、人
類が1組の夫婦から21世紀の人類社会へと進化したことが連続的に捉えるべきこと、そこにおけ
る人間の経営と企業経営の位置づけが今日的課題として浮上してきていること。

以上